

「民衆第一主義で社会主義建設をすすめる朝鮮労働党」

金日成・金正日主義研究沖縄連絡会副代表
沖縄大学名誉教授 平良研一



朝鮮労働党創建 75 周年、誠におめでとうございます。

心から祝賀の意を表したいと思います。

苦難の歴史をたどった偉大な朝鮮労働党の足跡を振り返ることとは、様々な困難が立ちはだかるなか、世界を席卷しているコロナウイルスもまだ終息せず、世界の情勢も混迷を深めている状況のなかにあつて極めて重要な意義を持つものと考えます。

ご存じのように、朝鮮労働党は、日米両帝国主義との厳しいたたかひのなかで、輝かしい勝利を経て結成されました。

朝鮮労働党は、そのたたかひのなかで、あるべき社会は個人主義の支配する資本主義ではなく、人民大衆が備えている能力を存分に発揮し、お互いが助けあい、協力しあう朝鮮独自の社会主義社会を築いていくことに努めてきました。

すなわち社会主義朝鮮をめざすのは、あくまでも党の指導のもとに労働者階級が主人公となる人間性豊かな社会主義社会を持続して追求することでした。

それを指導する朝鮮労働党は、旧ソ連、東ドイツ、チェコ、ルーマニアなどの東欧社会主義が陥り崩壊する原因となった官僚主義を否定し、労働者を中心とする人民大衆に奉仕し人民大衆とともに歩む党の方針を堅持してきました。

基調はチュチェ思想にもとづく人間性豊かな社会主義の方向です。

硬直した教条主義的な社会主義を克服し、柔軟で人間性豊かな人材を育むこと、すなわち人間の属性であり可能性でもある自主性、意識性、創造性を引き出すチュチェ思想に基づく社会主義です。

朝鮮式社会主義社会の建設をめざし、朝鮮労働党は 75 年もの年月を金日成主席、金正日総書記、そして金正恩労働党委員長と継続する発展的な指導のもとに、困難な国際情勢のなかで確固とした戦略を貫き、アメリカ帝国主義と対等に渡り合ってきました。

金正恩委員長の現在の政治姿勢、また来年1月に予定されている第8回の党大会に向けての言葉にその決意を見ることが出来ます。

「国のすべての機関は党の基本路線と政策、決定の貫徹から脱線しないように活動状況を定期的に総括しながら、よい成果は積極的に奨励し、是正し対策をとることによって欠陥を克服し対策することで革命と建設、党の強化発展において新たな前進を遂げなければならない」

このように強調するところに委員長の並々ならぬ決意をうかがうことができます。

歴史的に継承されてきた自主路線は、現在、日米両政府の戦争政策に真っ向からたたかう日本、沖縄の人民大衆の反戦・平和のためのたたかいに大きな示唆と励ましを与えるものです。特に現自民党政権の屈辱的な対米従属を批判し、日本の真の自主・独立を達成するためにチュチェ思想は有力で力強い武器となるものです。

何よりもアメリカをはじめ帝国主義諸国のバッシング、経済制裁に抗して信念を曲げない朝鮮の不屈の政治姿勢に学ぶべきことは多くあります。

現在アメリカをはじめ世界ではあらゆる困難に立ち向かっている社会主義朝鮮を疑いの目で見ると向きもありますが、決して目を離せない存在となっていることは確かです。

真正のまっとうな社会主義国家建設をめざして邁進する歴史的な朝鮮労働党の底力を誰も無視することはできないのです。

以上簡単ですが、沖縄からの祝賀の挨拶にかえます。